



ちょっと勉強室

No.206

平成27年 1月

今回のテーマは 出世魚

(1) 基礎知識

縁起物の一つに「出世魚」があります。稚魚から成魚までの成長に応じて異なる名前と呼ばれる魚のことをいい、めでたい席や門出を祝う席等のもてなし料理に好んで利用されています。江戸時代までは、武士や学者などには、元服の際や出世に伴って、名前を変える習慣があり、これになぞらえたものといわれています。要因にはいくつかあり、大きさや外見、生息域や生体の変化等があげられます。学術的な用途で用いられる標準和名は、出世魚のうちのいくつかの呼び名のうちの一つで、多くの場合は、成熟した時（成魚）の名前です。それ以外の成長段階の名前は、標準化がされていないため、同じ魚であっても呼び名は地方によって様々です。

(2) 代表的な例

ブリ

条鰭綱スズキ目アジ科に属する魚。

西日本で養殖が発達し、体長 60 cm のもの（関西でいう「ハマチ」）を出荷したため、養殖物を「ハマチ」、天然物を「ブリ」ということもあるようです。

- ・代表的な呼び名 ワカシ（15 cm位までのもの）⇒イナダ（40 cm位まで）⇒ワラサ（60 cm位）⇒ブリ（90 cm以上）

・地方での呼び名

下北地方	フクラギ ⇒ イナダ ⇒ ワラサ ⇒ ブリ
東北	ツベ ⇒ イナダ ⇒ アオ ⇒ ブリ
関東	ワカシ ⇒ イナダ ⇒ ワラサ ⇒ ブリ
北陸	ツバエリ ⇒ コズクラ ⇒ フクラギ ⇒ アオブリ ⇒ ハナジロ ⇒ ブリ
富山県	ツバイソ ⇒ コズクラ ⇒ フクラギ ⇒ ハマチ ⇒ ガンド ⇒ ブリ
関西	モジャコ ⇒ ワカナ ⇒ ツバス ⇒ ハマチ ⇒ メジロ ⇒ ブリ
山陰	ショウジゴ ⇒ ワカナ ⇒ メジロ ⇒ ハマチ ⇒ ブリ
四国・広島県	ヤズ ⇒ ハマチ ⇒ ブリ
九州	ワカナゴ ⇒ ヤズ ⇒ ハマチ ⇒ メジロ ⇒ ブリ ⇒ オオウオ



スズキ

条鰭綱スズキ目スズキ科に属する魚。

- ・代表的な呼び方 コッパ ⇒ デキ ⇒ セイゴ ⇒ フッコ ⇒ スズキ ⇒ オオタロウ

・地方での呼び名

関西	セイゴ ⇒ ハネ ⇒ スズキ
東海	セイゴ ⇒ マダカ ⇒ スズキ
宮城県では、	小型のものを特にセツパと呼ぶ



ボラ

条鰭綱ボラ目ボラ科に属する魚。

- ・代表的な呼び方 ハク ⇒ オボコ（おぼこ娘）⇒ スバシリ ⇒ イナ（いなせ）⇒ ボラ ⇒ トド（とどのつまり）

・地方での呼び名

関東	オボコ ⇒ イナッコ ⇒ スバシリ ⇒ イナ ⇒ ボラ ⇒ トド
関西	ハク ⇒ オボコ ⇒ スバシリ ⇒ イナ ⇒ ボラ ⇒ トド



マイワシ

条鰭綱ニシン目ニシン科に属する魚。

- ・代表的な呼び方 シラス（稚魚、1 cm未満）⇒カエリ（若魚、数cm）⇒コバ（小羽、10 cm前後）⇒チュウバ（中羽、15 cm前後）⇒オオバ（大羽、20 cm前後）

世界をみると、最も古い出世魚の報告はアリストテレスによるもので、バレロンの雑魚⇒メンダラス⇒トリキス⇒トリキアスと育つ魚であり、トリキスとトリキアスは「毛のような骨のある魚」という意味で、イワシの特徴と一致しているといわれています。